



血液オプション検査のご案内 すい臓がんのリスク検査

Prodrome-PAC (プロドローム・ピーエーシー)

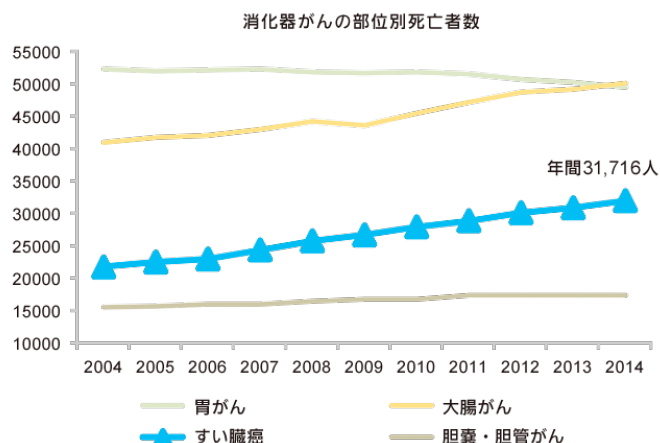
新規取り扱い項目検査

検査価格

18,700円 (税込)

◆ すい臓がんは早期発見が重要

すい臓がんによる死亡者数は上昇傾向にあり、年間の死亡者数は年間3万人を超えるとされています。また、消化器系のがんのなかでも痛みなどの自覚症状が少なく、早期発見が難しい上に、進行が早く重症化してしまうケースが多いとされています。そのことから、**がんの中でも対処が難しい「最悪のがん」**として知られています。



	ステージ	5年生存率(%)
すい臓	進行 IV	3~11
	III	24
	II	44
	初期 I	57

早期に発見出来れば、効果的に治療できる可能性が高まります。

◆ Prodrome-PAC検査とは

すい臓がんのリスクを調べる血液検査です。すい臓がん患者の血中で特異的に減少する、6種類の長鎖脂肪酸“PCファミリー”を測定し、すい臓がんのリスクを判別しています。

採血のみの簡単な検査で、**早期発見・早期治療のきっかけ**として利用頂くことが可能です。

こんな方にオススメです！

- ◎ タバコを毎日吸う。
もしくは吸っていた方
- ◎ 週に5日以上お酒を飲む方
- ◎ 高血糖の持病がある方
- ◎ 肥満（肥満気味）の方
- ◎ 血縁家族にすい臓がんになった方がいる方



報告レポートイメージ

検査結果と、結果に対する
評価コメントを記載

検査に関する情報と予防する
ためのヒントアドバイス付き

検査と結果判定に対する
コメントも記載

Prodrome-PAC すい臓がんリスク検査 結果報告書

カルテID 999999999 氏名 テスト一部 種
受診日 2018/2/13 性別 男性 年齢 70

すい臓がんリスク判定結果
Prodrome-PACの結果、長鎖脂肪酸の値は、レベル 10 とやや減少が見られ、すい臓がんのリスクは **中リスク** と判定されました。

総合評価コメント
今回の検査結果では長鎖脂肪酸の値はやや低く、すい臓がんのリスクは中リスクと判定されました。
必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をご検討下さい。

検査受診後について

低リスク *レベル: 25~100	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康的な生活習慣の維持 ● リスク因子の低減による予防
中リスク *レベル: 11~25	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的ながん検診やリスク検査の受診 (Prodrome-PAC テストの再検査の目安) 検リスク1~2年、中リスク半年~1年
高リスク *レベル: 0~10	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療機関とご相談の上、専門医の受診をご検討下さい。 ※ 必要に応じて精密検査(CT/MRI)の受診が勧められます。

※ 表が正でも一貫せず、必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をお勧めします。

Prodrome-PACで低・中リスク判定だった方に…

すい臓がん発生の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。予防の第一歩として生活習慣の改善を心がけましょう。

糖尿病 すい臓がん患者の約4割を占め、糖尿病が90%以上は糖尿病と診断されています。そのため、糖尿病はすい臓がんのリスク因子の一つと考えられています。	喫煙 喫煙はすい臓がんの発症危険度を約2倍に増加させると報告されています。また、肺がん化やその他のがんのリスク因子としても考えられています。
アルコール アルコール1日3杯以上摂取する方は、すい臓がんのリスクが高くなると報告されています。 *1杯: 約30g(ビール1杯、ワイン1杯)	肥満 肥満はすい臓がんのリスクを増加させることが報告されています。BMI(体格指数)が25以上の方は、それ以下の人に対してすい臓がんの発症リスクが2倍ほど高まるとされています。

※ 参考: 糖尿病 厚生労働省「糖尿病診療ガイドライン2018」
※ 参考: 肥満 厚生労働省「肥満診療ガイドライン2018」

Prodrome-PACで高リスク判定だった方に…

すい臓がんは進行が非常に早く、自覚症状も少ないことで知られています。本検査で高リスク判定だった方には必要に応じて専門外来の受診や精密検査の実施をお勧めします。(下記は実施例です。)

超音波内視鏡 超音波内視鏡を優先についた内視鏡を用いて行う精密検査です。検査前からの禁食や検査当日は禁食、対象となる部位に近い検査で検査を行うことが可能です。	CT検査 X線とコンピュータを用いた、すい臓の画像を撮影する検査です。検査の必要や必要性、必要に応じて精密検査に繋がります。	MRI(MRCP) 強力な磁場を用いて、肝臓や胆管を撮影する検査です。MRCP(胆管造影検査)です。すい臓の中心部を撮影し、胆汁を造影剤で造影し、中心部に検査することが可能です。
---	--	---

◆ Prodrome-PACについて

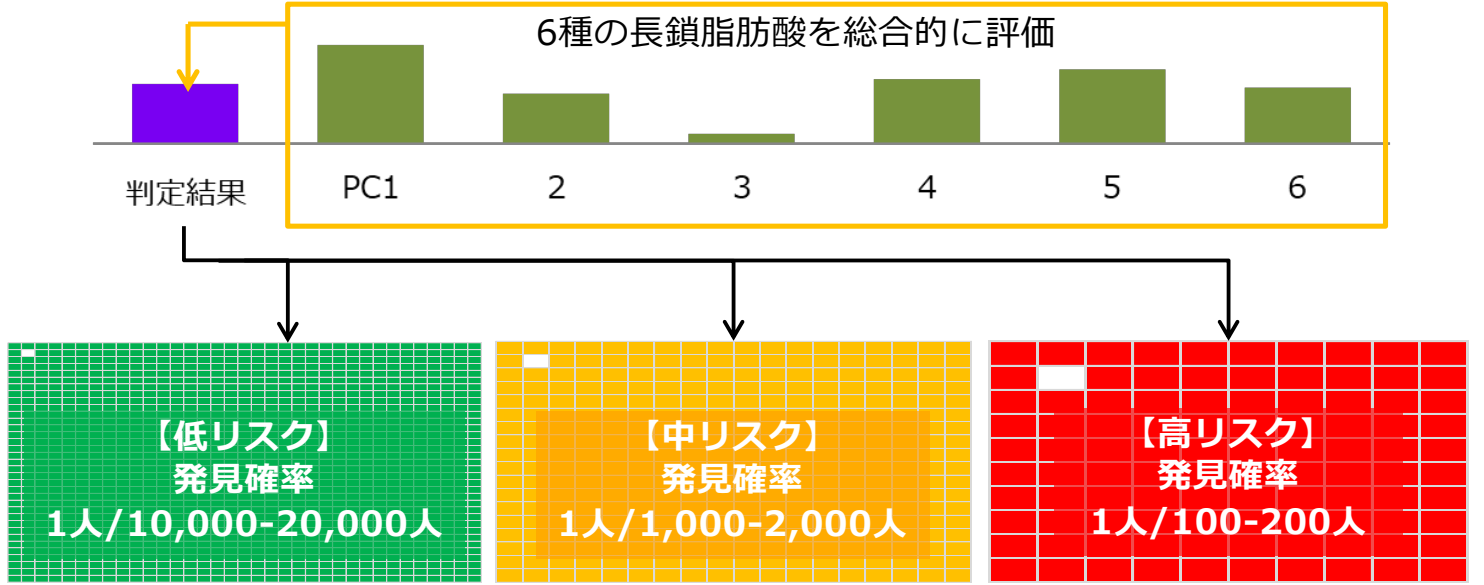
検査概要
本検査では6種類の長鎖脂肪酸(HL以下)のPCファミリーと総称の血中濃度を測定しています。これらは健康な状態からすい臓がんになる過程で減少すると考えられています。人体では、慢性的に過剰な炎症が生じたり、古い細胞が置換することでがんが出来やすくなると考えられています。PCファミリーはこれら初期することによってがん発生と関連が強く考えられています。そのためPCファミリーの減少は、すい臓がんの発症リスクを高める可能性があると考えられています。
*1 長鎖脂肪酸、細胞を構成する物質で、その減少や割合が減少しリスクを上げます。

結果判定
PCファミリーが非常に少ない場合は高リスク、やや少ない場合は中リスク、十分に存在する場合は低リスクと判定します。中リスクの場合、低リスクに比べてがんが見つかる確率が20倍近く高くなります。高リスクの場合では、両側に100倍以上高くなります*2。
*2 55-64歳 男性の場合、リスク/低リスク/中リスク/高リスク/100%

受診後の対応
生活習慣を改善してリスクの低減に努めるとともに、定期的な検査の受診をお勧めします。また、必要に応じて、精密検査を受けることをお勧めします。

測定・解析: PRODROME SCIENCES INC. 販売: NKMedico
PRODROME SCIENCES Inc. NKメディコ株式会社

簡易的に実施ができる血液採取検査で、**高精度**なリスク検査です。
すい臓がんの早期発見・早期治療の可能性を高めることが可能です



予約に関するお問い合わせ

医療法人一翠会
一翠会千里中央健診センター

【予約電話番号】
☎(06)-6872-5516

※ Prodrome-PACはすい臓がんのリスクを判定する保険未収載の検査です。
※ 他検査の結果と併せて今後の検査・治療方針の検討にお役立て頂くことをお勧めいたします。

※本検査は、すい臓がんのリスクを調べる検査です。
※精密検査につきましては、当センターで実施していない為、結果の【Prodrome-PACで高リスク判定だった方に…】を参考にして専門外来の受診をお勧めします。